

無石綿

NSベースネット工法

内・外装タイルはく落防止用ネット

NSベースネット工法は、下地モルタルと張付けモルタルをネットで連結することにより、コンクリート、ALCパネル面等のタイル張りのはく落を未然に防ぐ工法です。

特長

- タイル張付け界面がネットで連結され、またネットを全面に張ることで面内方向も連結されるので、はく落防止工法として有効です。
- ネットを挿入した張付け層が応力緩和層として働き、下地の挙動に対してタイルのはく落を防止する効果があります。

標準仕様

工法材料	荷姿	用途	適用部位	適用下地	適用仕上げ	標準調合	塗厚	施工面積
NSハイフレックス HF-1000	18kg/ 缶	吸水調整材	内・外壁	コンクリート、PC版、押出成形板、ALCパネル、ブロック、モルタル	モザイクタイル、小口平タイル、二丁掛タイル	HF-1000 *1 18kg 清水 約 72ℓ (5倍希釈液)	—	約 600m ²
ベースネット FN	幅 58cm 長さ 100m	はく落防止用ネット				—	約 58m ²	
NSダブルワン P-1	25kg/ 袋	ネット張付材				NSダブルワン P-1 25kg 清水 約 5.5ℓ	3mm	約 5m ²

注) *1: NSハイフレックス HF-1000

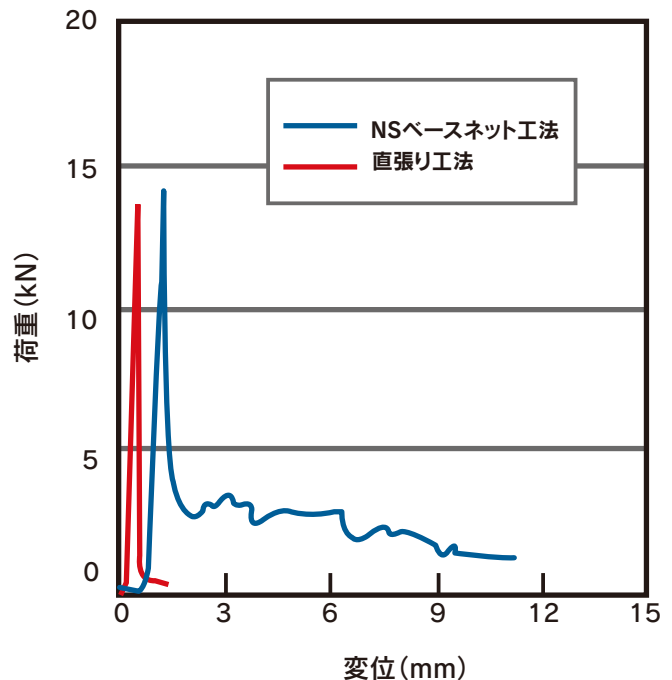
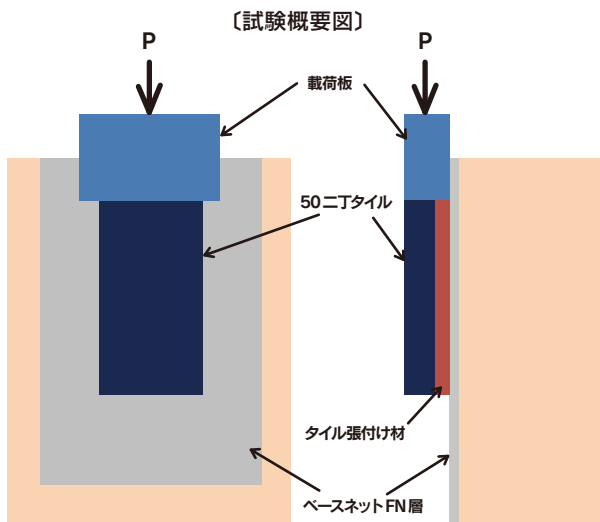
上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。
※ 各生産工場により、標準調合(加水量)が若干変わることがありますので、製品の包装袋の記載値で調合してください。

技術データ

■ 押し込み载荷試験 (せん断試験)

試験体仕様: 下地; コンクリート板
吸水調整材; NSハイフレックス HF-1000 5倍希釈液 1回塗布
タイル張付けモルタル; NSタイルセメント T-2
使用タイル; 50二丁タイル

試験条件: ① NSベースネット工法; 20°C、65% R.H.、NSダブルワン P-1によるベースネット FN施工後材齢 7日においてタイル張り、タイル張り後 28日において試験実施。
② 直張り工法; タイル張り後、材齢 28日において試験実施。



押し込み载荷試験

コンクリートはく落防止対策に用いる連続繊維シートのはく落防止性能を評価する試験方法です。試験方法の規格では、変位量 10mm 以上の最大荷重を性能評価の基準の目安としています。NSベースネット工法により、はく落防止性能は明らかに向上します。

施工法

下地の清掃

下地のぜい弱層・レイタンス・油分・汚れ等をワイヤブラシ・サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃または高圧水洗浄をおこなってください。

*浮き・はく落の原因となりますので、下地の清掃は入念におこなってください。

*下地モルタルによる表面調整が必要なときは、NS ポリマーミックス等で、事前に処理をおこなってください。(詳しい施工方法は NS ポリマーミックスのリーフレットを参照してください)

下地処理

(吸水調整材塗布)

下地の乾燥後、NS ハイフレックス HF-1000 の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

*吸水の激しい下地の場合、ドライアウトの原因となりますので、希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。

* ALCパネルに施工する場合、ALCパネルは1枚ごとに伸縮調整目地を設けてください。

* ALCパネルに施工する場合は、吸水性が高いのでNSハイフレックス HF-1000 の5倍希釈液を2回塗布してください。

練混ぜ

NSダブルワン P-1 25 kgに対し、所定量の水を加え、モルタルミキサーやハンドミキサー等でダマが残らないように十分に練り混ぜてください。

*強度低下の原因となりますので、加水後の材料は夏季40分以内、冬季60分以内に使い切り、練足し、水を加えての練戻しは避けてください。

ベースネット FN張付け

NSダブルワン P-1 をこて圧をかけて下地に擦り込むように約3mmに塗り付けてください。

NSダブルワン P-1 塗付け後、直ちにベースネット FN を上部から「しわ」にならないように張付け、金ごてまたはスパイラルローラーでよく含浸するように埋め込んでください。

*ベースネット FN には、表面と裏面がありますので注意してください。ベースネット FN 面に緑の糸が1本見え、

毛羽立ちがある方が表面です。裏面は、緑の糸が2本見え立毛していない面で、この面を躯体側として張付けてください。

*気泡の抱込みや接着不良箇所が生じた場合は、その箇所を切断し張り直してください。

*はく落防止効果を得るために、ベースネット FN 表面の毛羽立ちが残るように張付けてください。

*充てん不足を起こしますので、ベースネット FN は重ねないようにし、各ネットの間を約10mmあけてください。

養生

通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート掛け等の養生をおこなってください。また、施工後、降雨・降雪のおそれがある場合も、シート掛け等の養生をおこなってください。

*夏季の施工において、通風や直射日光により塗付け面の乾燥が激しく、強度が出ないおそれがある場合には、塗付け翌日以降に散水養生をおこなってください。

*仕上材の浮きやはがれ・はく落の原因となりますので塗付け後次工程までの養生は、夏季7日以上、冬季14日以上おこなってください。

タイル 張付け

タイル張付けを実施するときは、ベースネット FN に張付け材がよくなじむように必ず下ごすりを行い、所定の厚みに塗りつけてタイル張り施工してください。

*タイル張り、目地詰めには、当社の製品をご使用ください。

*使用材料、工法については、別途当社のタイル系カタログを参照してください。

*なじみが悪いと、はく離の原因となりますので、十分に一体化させてください。

*タイル張付け用振動工具を用い施工することを推奨します。

■気温が3℃以下になる場合には、施工を避けてください。

■本工法に使用する既調合品に、指定材料以外の他の材料の混入は避けてください。

■練混ぜに使用する水は、水道水等の清水を使用してください。

■使用後の器具は速やかに水で洗浄してください。

■製品は製造年月日を確認し、NSダブルワン P-1 は3ヶ月以内、NSハイフレックス HF-1000 は6ヶ月以内を目安に使用してください。



使用上の注意

本カタログに記載された内容(データ・仕様・施工法等)は、作成時点で入手できた情報・データに基づいており、実際の現場での結果を確実に保証するものではありません。また、本カタログの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。ご使用に際しては、適切な使用方法と安全対策に注意し、お取り扱いください。



製品問合わせダイヤル ☎ 0120-974237

製品の概要・施工に関してはこちらのダイヤルまでお問合せください。

ホームページ <http://www.nihonkasei.co.jp/> 日本化成の最新情報もご覧ください。